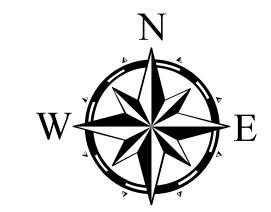
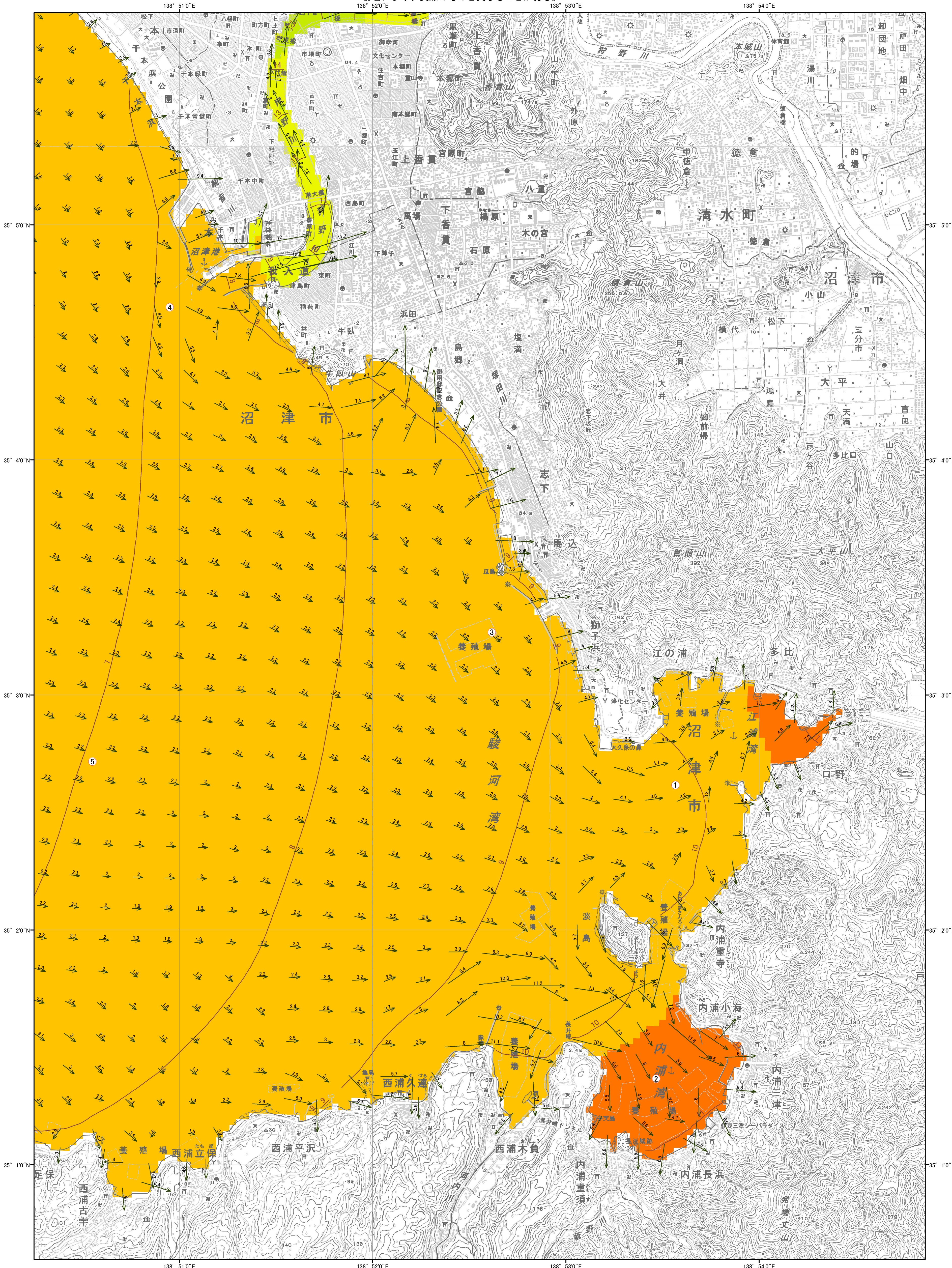


# 沼津港 津波防災情報図 (進入図)

計算条件: 最高水面(零位)  
 隆起量: 平均-16cm(-23cm ~ -11cm)  
 Zo: 1.00m  
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系: メルカトル図法  
 測地系: 世界測地系 (WGS84)

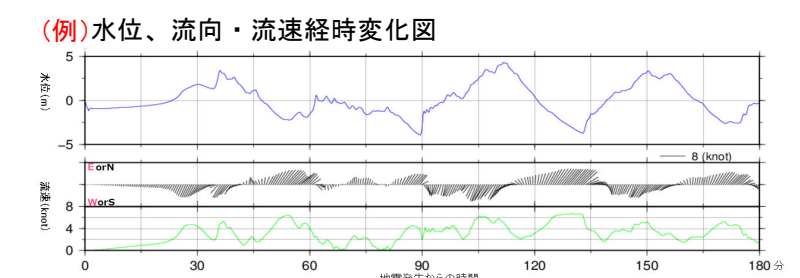


## 凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

- 最大水位上昇
- 10~最大13.3m
  - 5~10m
  - 3~5m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満

○ 経時変化図出力点  
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)



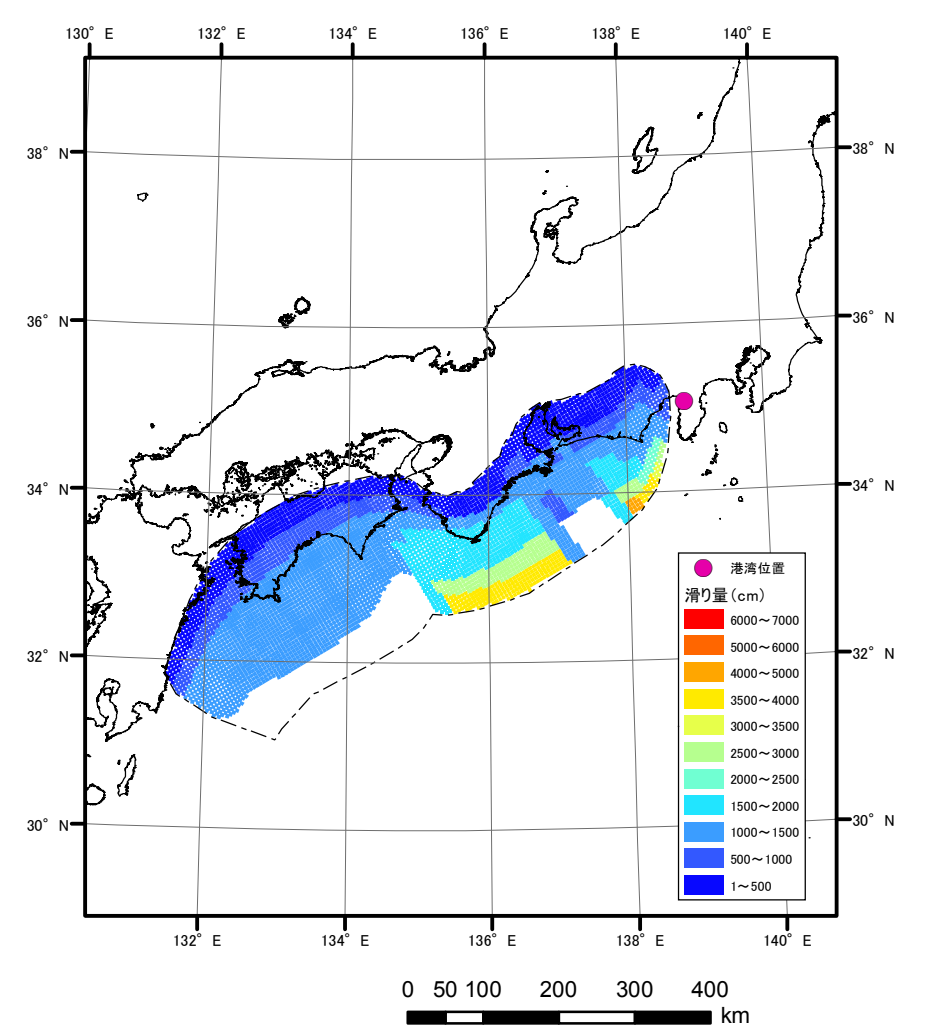
進入時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を算出している。

○ 防護施設は、震度6弱以上の地域であるため、地震発生から3分後に破壊するとして計算している。

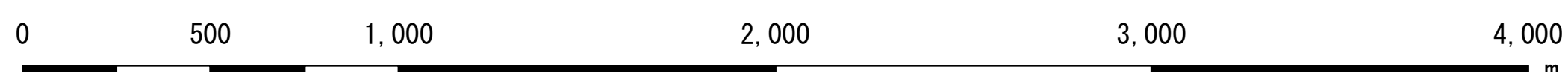
## 断層モデル



ケース⑧「駿河湾～愛知県東部沖と三重県南部沖～徳島県沖に『大すべり域+超大すべり域』」

|                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 断層面積 S (km <sup>2</sup> ) | 140,000                |
| 地震モーメント Mo (N·m)          | 6.2 X 10 <sup>22</sup> |
| 平均すべり量 D (m)              | 10.4                   |
| モーメントマグニチュード Mw           | 9.1                    |

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)(平成24年8月29日発表)」により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)